

3 月度 <第 32 回>

会長の時間

平成 26 年 3 月 6 日

【識字率向上月間】世界ローターアクトの日

3 月に入ったとはいえ、朝夕まだまだ肌寒い日が続いておりますが…何と、本日は卒業生を祝うかの如くすがすがしいお天気となりました。また、おめでたい日ということもあり会員の皆さんも多数ご出席を頂き感謝申し上げます。

本日は、「字部 RC（内良）奨学生の卒業祝い」という事で、ご案内申し上げましたところ、学校よりご担当の先生方、保護者の皆様、また、卒業生の皆さんには、大学入試等もまだまだ控えておりお忙しい中多数ご出席を賜り誠に有難う御座います。心から厚く御礼申し上げます。

改めまして、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。既に、進路も決り希望に満ちた方も多いかと思います。同時に皆さんは今、将来への期待と不安の入り混じった複雑な心境だと思えます。しかし、その気持ちこそ、皆さんが青春のまっただ中にいるという証です。はぐくまれている夢が大きいからこそ不安もまた大きいのです。

ノーベル平和賞を受賞したマーチン・キング牧師の「アイ・ハブ・ア・ドリーム」つまり「私には夢がある」という言葉が有ります。

今一度噛みしめて欲しいのです。

万が一、将来に渡って一つの夢が破れたとしても決して夢を持つことだけは忘れないで欲しいと思えます。

そうすれば、夢は必ず実現します。どうか、この言葉を忘れないでそれぞれが選択した道に向かって羽ばたき頑張ってくださいと思います。

後々、(内良)奨学金制度につきましては、担当理事から説明も有ろうかと思えますので、私は、ロータリーそのものについて、少しだけ、お話しいたします。国際ロータリーで言う、ロータリーとは、人道的奉仕を行い、あらゆる職場において高度の道徳的基準を守ることを奨励し、かつ、世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した実業人および専門職業人が世界的に結びあつた団体の事をいいます。

簡単に言うと、自分を磨き人を育て、時には慈善行為、或いはボランティア活動などを行う世界的な団体（ロータリー）と言う事を理解して下さい。

そして、我々ロータリアンにとって最も重要な奉仕哲学があります。それは「奉仕の理想 (Ideal of Service)」と言う言葉があります。

己に天職という使命を与えてくれた社会、また、己の職業を生かし続けさせて

もらっている社会に感謝するとき、その仕え方（奉仕）の基本として個人生活、社会生活、職業生活に於いて利己的欲求は最小限にとどめ、常に最大利他の探究を求めつづけていこうとする奉仕哲学です。

既に卒業生の皆さんの中には、4月から就職される人、又は上の学校を目指している人…と、それぞれに、限りない夢があり未来が有ります。しかし、忘れてはいけない事は、これまで育てて頂いた親に対する感謝の気持ちを忘れないで下さい。その上で、心優しい思いやりのある人へと成長して貰いたいと思います。

また、若いので夢もあり希望も有るでしょう！しかし、ダイヤモンドは最初から光輝く宝石では有りません。卒業生の皆さんは、まだまだ、社会的には原石です。ですから、これから自分を磨き、他人や社会に磨かれて立派な宝石に成れます。皆さんには、無限大の可能性があるのでその時、その時のチャンスを見逃すことのないよう見極め頑張ってください。そうすればやがて立派な光輝く宝石（ダイヤモンド）になられるでしょう！期待しています。

最後に、何年か経った暁には、立派に成長され、今度は、宇部ロータリークラブの会員としてここに戻って来て下さいます様祈念しお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。